

B ドイツ語 1 第 13 回 講読: 新聞記事を読む (第 1 回)

範囲: Aufforderung zum Dschihad, Frankfurter Allgemeine Zeitung, 24. 06. 2017

(<http://www.faz.net/aktuell/feuilleton/debatten/der-is-sprengt-die-al-nuri-moschee-von-mossul-15074387.html>)

テキストの補足説明:

S. 1, 見出し

• Feuilleton

* f. 文芸欄、学芸欄。単なる報道ではない評論や論説を掲載することが多い。発音はフランス語式で[fœj(ə)tʰɔ̃]。

• Al-Nuri-Moschee

* アル・ヌーリ・モスク。固有名詞 (下記モスルに所在するモスクの名称)。

• Mossul

* モスル。固有名詞 (イラクの都市)。

S. 1, 第 1 段落

• dem puritanisch-wahhabitisch geprägten architektonischen Selbstverständnis

* prägen (vt. 刻印する) の過去分詞 geprägt に副詞 puritanisch-wahhabitisch がついた**冠飾句**。

** ドイツ語特有の表現である冠飾句は、現在分詞、過去分詞、形容詞がその他の文成分 (副詞句、4 格目的語など) とともに名詞を修飾するものである。その際、(冠詞) - その他の文成分 - 現在分詞 / 過去分詞 / 形容詞 - 名詞の語順をとり、現在分詞、過去分詞、形容詞はいずれも付加語的用法として形容詞変化をする。なお、**現在分詞**は**不定詞 + d**によりつくる (sein が seiend、tun が tuend なのが例外)。

(例) der von Goethe geschriebene Roman

ゲーテによって書かれた小説 (過去分詞)

ein noch Laub tragender Baum

まだ葉を載せている木 (現在分詞。他動詞の現在分詞の場合、その他の文成分として 4 格目的語を挿入することができる)

冠飾句は、関係代名詞で置き換えることができる。この句の場合は、dem architektonischen Selbstverständnis, das puritanisch-wahhabitisch geprägt wird.

(例) Der Roman, der von Goethe geschrieben wurde

ein Baum, der noch Laub trägt

冠飾句は、文章語としては、関係代名詞の重複を避けるために好んで用いられる。

*** puritanisch-wahhabitisch は「ピューリタンの一ワッハーブ派的」。18 世紀に興った「原理主義的」とされるイスラーム教改革運動のワッハーブ派 (現サウジア

ラビアの国教) を、キリスト教におけるピューリタンと等値した書き方。ただし、IS をワッハーブ派に含めてよいかどうかは議論の余地がある。

- dem ... Selbstverständnis ... entspricht
 - * *et*³. entsprechen ~に一致する、対応する
- deren
 - * 単数女性 2 格の関係代名詞 (⇒文法教科書 S. 96)。先行詞は Herrschaft。
- sich abzeichnet
 - * *sich*⁴ abzeichnen くっきり浮かび出る、はっきり際立つ
- Die mediale Inszenierung dieser Verwüstung
 - * dieser Verwüstung は 4 格的 2 格
- mit dem Moment ... verbunden
 - * verbunden は verbinden *vt.* の過去分詞。mit *et*³. verbunden で「~と結合した」。
- Sie diene der Visualisierung ...
 - * *et*³. dienen ~に貢献する
- der rückwärtsgewandten IS-Terroristen
 - * rückwärtsgewandt は rückwärts(後ろに) + gewandt(向いた) と考える。gewandt は wenden (*vt.* ~の向きを変える) の過去分詞。
- verlaufen war
 - * verlaufen (*vi.* 走る、存続する) の過去完了形。

S. 1, 第 2 段落

- eines „rein“ verstandenen sunnitischen Herrschaftsanspruchs
 - * verstehen (*vt.* ~を理解する) の過去分詞 verstanden に副詞 „rein“ がついた冠飾句。
 - ** sunnitisch *adj.* スンナ派の
- den es nun mit brutaler Gewalt durchzusetzen gilt
 - * den は Herrschaftsanspruch を先行詞とする関係代名詞。ただし、ここでは関係代名詞節内部の定動詞 gilt (gelten) ではなく、zu 不定詞 durchzusetzen の目的語となっている。この構造を明確化するため、zu 不定句を関係代名詞節の外に出していない。
 - ** es gilt + zu 不定句 ~することが必要である
- den vom IS unterworfenen Gebiete
 - * unterwerfen (*vt.* ~を制圧する) の過去分詞 unterworfen に受動の主体を表す副詞句 vom IS がついた冠飾句。
- übrigens auch für die Kreuzfahrer
 - * ハイフン (Strich) で囲まれているので挿入句だとわかる。
- deren Gotteshäuser dem Erdboden gleichzumachen

* *et*⁴. dem Erdboden gleichmachen ~ (建物、都市など) を完全に破壊しつくす
S. 2, 第 1 段落

• Nur al-Din Zengi

* ヌールッディーン・ザンギー。固有名詞 (人名)。

• entstammte einer türkisch-sunnitischen Herrscherdynastie, ...

* *et*³. entstammen ~に出自を持つ

• der von ihm energisch vorangetriebenen „sunnitischen Renaissance“

* vorantreiben (*vt.* 促進する) の過去分詞 *vorangetrieben* に受動の主体を表す副詞句 *von ihm* と状態を表す副詞 *energisch* がついた冠飾句。

• die die Zentralität des Dschihad im islamischen Bewusstsein verankern sollten.

* *die* は Publikations- und Baukampagne を先行詞とする関係代名詞。

* * *des Dschihad* は 2 格だが、外来語のため 2 格の -s 語尾を欠いている。

S. 2, 第 2 段落

• archäologisch gesehen

* *sehen* の過去分詞 *gesehen* による**分詞構文**。分詞構文は副詞節の副文と同じ機能を有する。

• anhand mündlicher Überlieferung

* *anhand* は 2 格支配の前置詞で「~を手がかりに、~をもとに」の意味。

• wusste ... zu berichten

* *wissen* + *zu* 不定句 ~する術を心得ている

S. 2, 第 4 段落

• basierend auf der Darstellung mittelalterlicher arabischer Chronisten

* *auf et*³. *basieren* (~に基づく) の現在分詞 *basierend* による分詞構文。一般に分詞構文は不定詞句と同じ語順 (分詞が最後) をとるが、このように分詞が最初に来る語順 (英語などと同じ) 場合もある。

• ein nur spärlich besiedeltes Ortsviertel

* *besiedeln* (*vi.* ~に定住させる、入植させる) の過去分詞 *besiedelt* に副詞 *nur spärlich* がついた冠飾句。

• mit unterschiedlichen Koranversen versehen waren

* *et*⁴. *mit et*³. *versehen* (4 格に 3 格を備える) の状態受動。

• Bündelsäule

* Bündelpfeiler に同じで「(ゴシック建築の) 簇柱^{そう}」。円柱を束ねた柱。

S. 3, 第 1 段落

• Abu Bakr al Bagdadi

* アブー・バクル・バグダディー。固有名詞 (人名)。IS のカリフを名乗る人物。

• „Kalifat“

- * カリフ制。「自称」のニュアンスを持たせるために引用符を加えている。
- mit inszeniert
 - * この mit は前置詞ではなく副詞。「一緒に、同時に」の意味。
- Darüber, ob ...
 - * 前置詞の目的語が ob や dass などの従属接続詞に導かれる名詞節の場合は、前置詞と人称代名詞の融合形を名詞節の前に置く。 授業第 11 回、12 回で学んだ、前置詞の目的語が zu 不定句の場合と同じ。
- deren Baugeschichte
 - * deren は単数女性 2 格の指示代名詞。この場合は Moschee (f. モスク) を指す。
- im Bilde ist
 - * über et^z. im Bild(e) sein ~について心得ている
- Sollte dies tatsächlich der Fall sein,
 - * 定動詞を文頭に置いて wenn を省略した条件節をつくっている (⇒文法教科書 S. 106、本授業第 2 回配付資料)。sollte は接続法第 II 式。
 - ** wenn を用いて書き換えると、Wenn dies tatsächlich der Fall sein sollte, となる。

連絡先など

講師のメールアドレス: tokan@nifty.com 講師のウェブサイト: <http://hhasegawa.la.coocan.jp/>

授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/2017/2017tusBDeutsch1.html>